生涯教育研修会報告書

学術部 学発番号 第12 - 037号

平成24年12月8日 報告

報告者：鮎川 宏之

所属：医仁会武田総合病院

連絡先：075 - 572 - 6331

主題：「透析シャントエコーのテクニックと意義～ライブでお見せします！～」

講師：講演：河村 知史先生

日時：平成24年11月22日(土) 18:30～20:30

場所：京都保健衛生専門学校 1階視聴覚室

講師所属：蒼龍会 井上病院 臨床検査科

分類：生体検査20点

全体参加人数：55人

京臨技会員参加人数：22人

仮会員：0人

非会員：0人

賛助会員：0人

2012年11月22日(土) 京臨技生理研究班・末梢血管研修会が行われました。講師は、蒼龍会井上病院 臨床検査科の河村知史先生に講演をお願いしました。講演テーマは(透析シャントエコーのテクニックと意義～ライブでお見せします！～)でお願いしました。前半の講義では透析シャントの基礎から実践的な内容まで幅広く解りやすく丁寧にお話して頂きました。また、後半のライブデモンストレーションでは実際の透析患者様にご協力いただきライブにてシャントエコーでの観察ポイントやテクニックを披露して頂きました。現在、約30万人の患者が血液透析を受けていると言われていますが、糖尿病や高齢者、長期にわたる透析患者の増加に伴い、バスキュラーアクセスのトラブルが大きな問題となってきました。そのような中でバスキュラーアクセスのトラブルを的確に診断し早期発見することは透析患者のQOLにとって非常に重要であります。現在シャントエコーの依頼がないまたは少ない施設も今後、はこのような症例に遭遇する機会が出てくると思われます。今回、学んだ内容は必ずや今後のルーチンに役立つことと思いました。

(報告者 米田 智也)